

平成27年度関東倶楽部対抗群馬第1会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 15倶楽部 ・ 120名)

期日：5月26日(火)

場所：妙義カントリークラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	長岡 均	ヴィレッジ東軽井沢	黒沢 三郎	上武・浄法寺	新井 佳泉	グリーンパーク	佐藤 春和	ルーデンス
2	8:09	諸田 右千人	高山	堀口 孝利	甘楽	梅澤 吉朗	初穂	横田 利幸	妙義
3	8:18	桐生 勝	関越ハイランド	内藤 誠	下仁田	千明 直一	赤城	小野 茂	JGM高崎ベルエア
4	8:27	小野里 篤雄	JGM高崎ロイヤルオーク	千明 春男	下秋間	武井 茂幸	赤城国際	白石 克己	ヴィレッジ東軽井沢
5	8:36	大庭 敏夫	グリーンパーク	富田 聖一	高山	樋口 隆夫	初穂	並木 孝之	関越ハイランド
6	8:45	長谷川 壽彦	赤城	立石 眞一	JGM高崎ロイヤルオーク	関口 茂	赤城国際	新田 元大	上武・浄法寺
7	8:54	柳澤 康雄	ルーデンス	高田 公夫	甘楽	内堀 秀司	妙義	藤巻 勲夫	下仁田
8	9:03	細沼 実	JGM高崎ベルエア	松田 敏廣	下秋間	笠原 一郎	ヴィレッジ東軽井沢	田中 賢正	ルーデンス
9	9:12	小野寺 高夫	初穂	入山 正男	下仁田	金井 康広	JGM高崎ロイヤルオーク	萩原 秀男	上武・浄法寺
10	9:21	斉藤 義春	高山	伊藤 俊裕	妙義	都丸 光二	赤城	大澤 廣	下秋間
11	9:30	矢島 美孝	グリーンパーク	片桐 忠夫	甘楽	丸山 優	関越ハイランド	青木 章	JGM高崎ベルエア
12	9:39	設楽 守廣	赤城国際	清水 清	ヴィレッジ東軽井沢	福島 敏夫	高山	井上 豊	関越ハイランド
13	9:48	小池 敏幸	JGM高崎ロイヤルオーク	伊澤 基一	上武・浄法寺	丸山 博	甘楽	諸星 和夫	下仁田
14	9:57	渡辺 武	下秋間	高橋 登	グリーンパーク	今井 達治	初穂	杉山 直樹	赤城
15	10:06	齋藤 順一	赤城国際	齋藤 芳夫	ルーデンス	杉田 勝彦	妙義	平山 登	JGM高崎ベルエア

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
16	8:00	佐藤 孝行	ヴィレッジ東軽井沢	篠崎 成志	甘楽	白石 哲也	赤城	伊藤 栄輔	上武・浄法寺
17	8:09	阿部 政則	初穂	竹内 陽一	JGM高崎ベルエア	越原 秀一	グリーンパーク	戸塚 尚夫	妙義
18	8:18	小見 康雄	JGM高崎ロイヤルオーク	市川 哲次	ルーデンス	田村 康成	関越ハイランド	中島 栄治	下秋間
19	8:27	諸田 徳寿	高山	市川 充人	下仁田	関 徹也	赤城国際	佐藤 誠	ヴィレッジ東軽井沢
20	8:36	井川 智一郎	初穂	橋爪 義典	JGM高崎ロイヤルオーク	高羽 琢二	上武・浄法寺	松岡 暖	妙義
21	8:45	アンディ フェルナンデス	下秋間	水川 純一	グリーンパーク	永井 秀明	関越ハイランド	石井 勇人	赤城国際
22	8:54	久下 裕	ルーデンス	柳 守彦	下仁田	高野 政人	高山	飯塚 均	赤城
23	9:03	書上 正生	甘楽	小出 憲治	JGM高崎ベルエア	今泉 篤基	ヴィレッジ東軽井沢	仲鉢 隆次	妙義
24	9:12	高橋 恒人	赤城国際	小俣 行秀	上武・浄法寺	須藤 正樹	関越ハイランド	今村 幹隆	グリーンパーク
25	9:21	信澤 良和	下仁田	松尾 栄作	ルーデンス	有田 実	赤城	谷 直樹	高山
26	9:30	梅山 敦	JGM高崎ベルエア	松澤 寿一	甘楽	猿渡 猛	JGM高崎ロイヤルオーク	櫛渕 寛之	初穂
27	9:39	石原 博史	下秋間	大河原 光一	ヴィレッジ東軽井沢	田村 英秋	関越ハイランド	野崎 光則	上武・浄法寺
28	9:48	三井田 浩	下仁田	角田 卓也	グリーンパーク	津田 賢一	赤城	金田 清治	ルーデンス
29	9:57	石田 三男	JGM高崎ベルエア	小石 陽二	高山	廣瀬 光成	JGM高崎ロイヤルオーク	大竹 真史	甘楽
30	10:06	内山 光一	妙義	星野 博	初穂	小曾根 和雄	赤城国際	高階 繁尚	下秋間

競技委員長 大橋正明

平成 27 年度 関東倶楽部対抗群馬第 1 会場予選競技

開 催 日 : 5 月 26 日(火)

開催コース: 妙義カントリークラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
4. 動かさない障害物(規則 24-2)
 - (a) 排水溝
 - (b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - (c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - (d) 黄黒の縞杭(本競技には適用しない)
5. コースと不可分の部分
ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
6. ホールとホールの間の白杭
1 番と 5 番ホール、5 番と 6 番ホール及び 7 番と 8 番ホールの間の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
7. 防球ネット
防球ネットに球が近接しているために、スタンスや意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。
また、防球ネットと隣接するカート道路は防球ネットと一体の障害物とする。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	524	184	373	390	369	160	362	477	380	3219
BクラスYards	550	202	395	408	393	160	378	512	400	3398
Par	5	3	4	4	4	3	4	5	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
358	370	479	175	416	356	170	366	524	3214	6433
385	392	498	197	437	372	208	387	564	3440	6838
4	4	5	3	4	4	3	4	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(C)1a』を適用する(ゴルフ規則 174 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(C)1b』を適用する(ゴルフ規則 175 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間にいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(C)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(C)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コイン(200 球)を限度とする。

競技委員長 大橋正明